



# 若竹だより



## 【巻頭言】

### 若竹のねがい

#### —あたりまえの生活って何?—

園長 野田大燈

平成 26 年 1 月元旦。明けましておめでとうございます。

皆皆さまご家族が健康で中睦ましい 1 年がありますようお祈り申し上げます。

「元旦や人それぞれに思いあり」と言う句を聴いたことがあります。

元旦は 1 年の年頭・出発の日で、神社やお寺へ参詣に行かれる方も多くおられます。

そして神仏の前で神妙な顔をして手を合わせて「何か」を念じているように見えます。

子供は子供として、大人は大人としての願いがあって当然だと思います。

後はその思い描いたことを如何に現実のものにするか、と言う努力だと思います。

若竹学園でも「僕はサッカーをしたい」「私はシェフになりたい」…、と言うような決意を聞いて嬉しくなります。

私たち職員は、その子供たちの「夢・希望」が現実のものとなるよう支援してあげることだと思っています。

昨年から全国の児童施設を対象に「子供たちにあたりまえの生活をさせてあげよう」と云う事が言われています。

改めて「当たり前の生活をさせましょう」と言われると、児童施設では当たり前の生活をさ

せていなかったのか、と思われてしまいます。

では一体「当たり前の生活」とはどのようなもの言うのでしょうか。

生活や会話の中で頻繁に使用される言葉ですが、改めて「あたりまえ」ってどういうことか?と問われると答えに窮してしまいます。

朝起きるのも食事をするのも、呼吸をしているのも、総て当たり前の範疇に入ります。

児童施設で共通しているのは「規則正しい生活」だと思います。

決められた時間に起床してはみがき洗面して朝食を摂ります。

この生活が児童施設の当たり前の生活ですが、一般の家庭では如何でしょうか。

知人の家庭では朝食は習慣とし摂りません。それが知人の家の当たり前の生活なのです。

また他の知人の家庭では朝食は摂りますが、パパは新聞読みながら、他の家族はテレビを見ながら食事をします。当たり前の朝の風景ってどのようなものでしょうか?

私は声を大にして言いたいと思います。「若竹学園の生活があたりまえの生活だ!」と。

何れは若竹学園を卒園して進学・就職して自立せねばなりません。

そのために、「若竹のねがい」があります  
ひとつ、よろこんで与える人間となろう  
ふたつ、いのちを大切に作る人間となろう  
みつつ、こころ静かに考える人間となろう  
よつつ、使命に生きる人間となろう  
いつつ、規律ある幸せ喜ぶ人間となろう

—了—

## 若竹学級たより

### 2 学期を終えて

寒さも一段と増してきましたが生徒たちは毎日元気よく過ごしています。先日、2 学期終業式が行われました。静かに校長先生の話聞く姿を見て、少しずつ成長しているなど感じました。3 学期も毎日元気に過ごしてもらいたいです。

### 栗の木の植樹を行いました。

1 2 月に小学生、中学生が合同で栗の木の植樹を行いました。生徒たちの要望もあり、今回やっと実現することが出来ました。冷たい風が吹き荒れるなか各学年ごとに分かれ、3 本の栗の木を植えました。



生徒たちはスコップやクワで穴を掘り、落ち葉を敷き詰め、木を植える作業を自分たちで行い、満足そうな表情を見せてくれました。

また、大きな石が多く、穴を掘るのに苦戦していた学年のところに、他学年の生徒たちが集まり、手や足を泥まみれにしながら協力して取り組んでいる姿に、感動させられました。

桃栗三年柿八年といいますが、早く実をつけ、立派な栗の木に育ってくれることを願っています。



### 平和学習を行いました。

1941 年 12 月 8 日の真珠湾攻撃について学習し、全員で映画「火垂るの墓」を視聴しました。生徒たちは



真剣な表情で視聴し、教師の解説に耳を傾けながら、戦時中の悲惨さや、その当時の生活などについて学ぶことが出来ました。

前回の平和学習に比べ、生徒たちが自分の考えや、登場人物の気持ちを考え、発言する回数が多くなったように感じました。

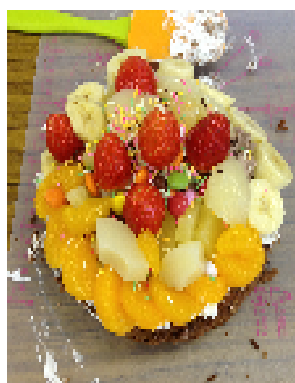
これからも豊かな心を育む学習を行っていききたいと思います。

### 調理実習～クリスマスケーキ作り～

2 学期の締めくくりとして小学生、中学生全員で調理実習を行いました。今回はクリスマスも近いということでケーキ作りに挑戦しました。

学年ごとに分かれ、同じ材料を使用し、それぞれがケーキ作りに取り組みました。生徒たちの様子をうかがうと、クリームを塗ったり、デコレーションのデザインを考えたりと、役割分担をして一人一人がしっかり取り組めたようです。

学年ごとに個性のある 4 つのケーキが出来上がり、最後はみんなでおいしく食べ、よい思い出になりました。



# ハーモニカ

12 月 21 日 (土) ハーモニカの澄んだ音色が若竹学園に流れました。関西ハーモニカ連盟会長中村会長をはじめ三木町在住のハーモニカ同好会の方が、子どもたちにハーモニカの演奏を聞かせてくれました。

最初に演奏者とハーモニカの紹介がありました。低音を出す大きなバスハーモニカや吹く穴が 4 列もある復音ハーモニカ、小学生の時に使ったハーモニカなどハーモニカにもいろいろな種類があることを教えてくれました。

同好会の方がそれらのハーモニカとギターで「クリスマスの歌」や「ふるさと」などの童謡を演奏してくれました。また、中村会長は「きしゃぼっぽ」「フォレスタ汽車」など汽車メドレーを聞かせてくれました。蒸気機関車が本当に煙を出して走っているように聞こえた演奏でした。

子供達はハーモニカでこんなに美しく曲が吹けるのかと感動していました。



ゲームが届いたよ。サンタさんがプレゼント持って来てくれた。」など子供達の笑顔で職員も心温まる朝となりました。

午後からは、クリスマス会でした。今年はサプライズでイオンモール様から黄色いレシートキャンペーンの支援活動の一環で特別なプレゼントを頂きました。中身はなんと、「ニンテンドー 3 DSLL ゲーム機 2 台 + 3 DS ソフト 2 本」で子供達からの眩いほどの笑顔がとても印象的でした。



その後、レクリエーションに移り、「ひらひらペーパー、ダーツ、秒数当てゲーム、ピコピコハンマー対決」の 4 つです。

レクリエーションでは、紙のお金を貯め、ビンゴカードに交換。ビンゴの商品が「おやつ」という事もあって、多くのビンゴカードを集めるために子供達は真剣な表情でレクリエーションに挑んでいました。

ピコピコハンマー対決では職員と真剣勝負が出来るということで人気があり、何度も挑戦する場面が見られました。



レクリエーションが進むにつれて真剣な表情がいつしか笑い声や笑顔に包まれ、イオンの方との交流やビンゴ大会を楽しんでいました。



# クリスマス

12 月 25 日 (水) は年に一度の子供達が待ちに待っていたクリスマスです。

25 日の朝は、1 人ひとりがサンタさんをお願いをしたプレゼントが届き、みんなとても喜んでいました。

出勤してくる職員に、「〇〇先生、お願いした

